

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成30年9月6日(2018.9.6)

【公表番号】特表2017-523790(P2017-523790A)

【公表日】平成29年8月24日(2017.8.24)

【年通号数】公開・登録公報2017-032

【出願番号】特願2017-506667(P2017-506667)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/7105	(2006.01)
A 6 1 K	47/54	(2017.01)
A 6 1 P	3/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	3/06	(2006.01)
A 6 1 P	3/04	(2006.01)
A 6 1 P	9/12	(2006.01)
A 6 1 P	1/16	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	31/7105	
A 6 1 K	47/54	
A 6 1 P	3/00	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	3/06	
A 6 1 P	3/04	
A 6 1 P	9/12	
A 6 1 P	1/16	

【手続補正書】

【提出日】平成30年7月27日(2018.7.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

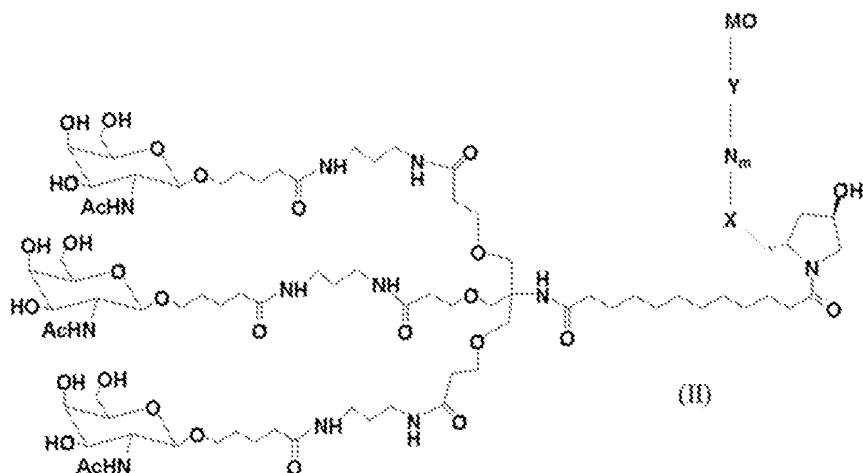
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

構造：

## 【化1】

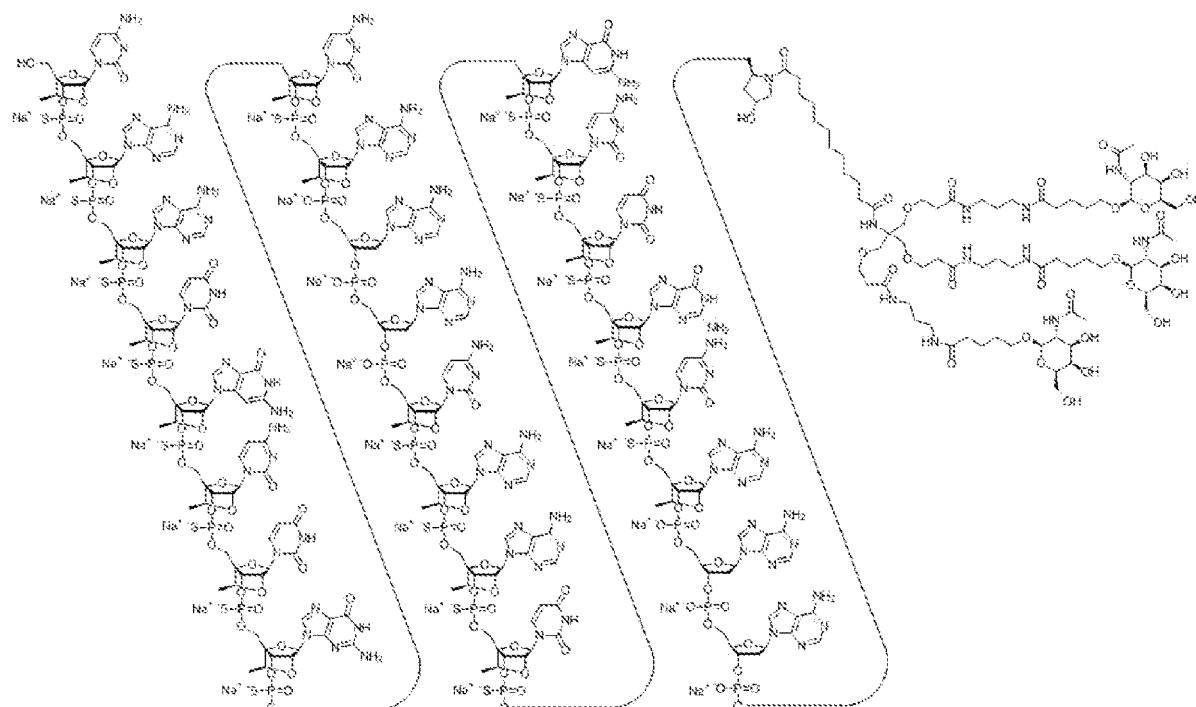


(式中、Xはリン酸ジエステル連結であり；N<sub>m</sub>の各Nはデオキシアデノシン（A）であり；mは2であり；Yはリン酸ジエステル連結であり；且つMOは5'-C<sub>s</sub>A<sub>s</sub>A<sub>s</sub>U<sub>s</sub>G<sub>s</sub>U<sub>s</sub>G<sub>s</sub>C<sub>s</sub>A<sub>s</sub>A<sub>s</sub>U<sub>s</sub>G<sub>s</sub>C<sub>s</sub>U<sub>s</sub>G<sub>s</sub>C<sub>s</sub>A<sub>s</sub>-3'（配列番号7）であり、添字「s」が後ろに付く各ヌクレオシドはS-cEtヌクレオシドであり、後ろに添字が付かない各ヌクレオシドはデオキシヌクレオシドであり、且つ2つのS-cEtヌクレオシド間の各ヌクレオシド間結合がホスホロチオエート連結であり、及び残りのヌクレオシド間結合がリン酸ジエステル連結であり；YがMOの3'末端に連結している)を含む化合物、又はその薬学的に許容される塩。

## 【請求項2】

構造：

## 【化2】



を有する化合物。

## 【請求項3】

請求項1に記載の化合物と薬学的に許容されるキャリアとを含む医薬組成物。

## 【請求項4】

水性組成物である、請求項3に記載の医薬組成物。

## 【請求項 5】

凍結乾燥組成物である、請求項 3 に記載の医薬組成物。

## 【請求項 6】

請求項 2 に記載の化合物と薬学的に許容されるキャリアとを含む医薬組成物。

## 【請求項 7】

水性組成物である、請求項 6 に記載の医薬組成物。

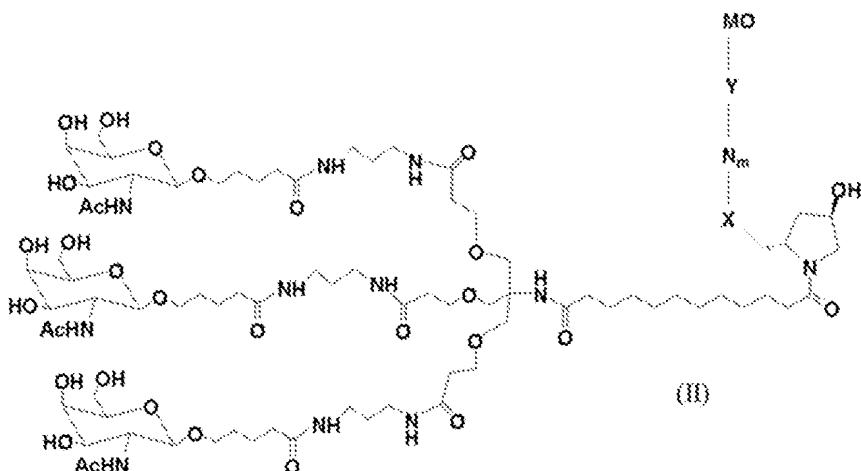
## 【請求項 8】

凍結乾燥組成物である、請求項 6 に記載の医薬組成物。

## 【請求項 9】

構造：

## 【化 3】



(式中、Xはリン酸ジエステル連結であり；N<sub>m</sub>の各Nはデオキシアデノシン（A）であり；mは2であり；Yはリン酸ジエステル連結であり；且つMOは5'-C<sub>s</sub>A<sub>s</sub>A<sub>s</sub>U<sub>s</sub>G<sub>s</sub>C<sub>s</sub>A<sub>s</sub>A<sub>s</sub>A<sub>s</sub>U<sub>s</sub>G<sub>s</sub>C<sub>s</sub>U<sub>s</sub>G<sub>s</sub>C<sub>s</sub>A<sub>s</sub>-3'であり、添字「S」が後ろに付く各ヌクレオシドはS-cEtヌクレオシドであり、後ろに添字が付かない各ヌクレオシドはデオキシヌクレオシドであり、且つ2つのS-cEtヌクレオシド間の各ヌクレオシド間結合がホスホロチオエート連結であり、及び残りのヌクレオシド間結合がリン酸ジエステル連結であり；YがMOの3'末端に連結している)

を含む化合物の、

被検体の少なくとも1つの代謝障害を処置する又は被検体の少なくとも1つの代謝障害の発症を予防し、若しくは遅延させるための医薬の製造における、使用。

## 【請求項 10】

前記少なくとも1つの代謝障害が、前糖尿病、糖尿病、メタボリックシンドローム、肥満、糖尿病性異脂肪血症、高脂質血症、高血圧症、高トリグリセリド血症、高脂肪酸血症、高コレステロール血症、及び高インスリン血症のうちから選択される、請求項9に記載の使用。

## 【請求項 11】

前記糖尿病が、2型糖尿病である、請求項10に記載の使用。

## 【請求項 12】

前記被検体が、脂肪肝疾患有する、請求項9に記載の使用。

## 【請求項 13】

前記脂肪肝疾患有、非アルコール性脂肪肝疾患有（N A F L D）、アルコール性脂肪肝疾患有、アルコール性脂肪性肝炎、及び非アルコール性脂肪性肝炎（N A S H）から選択される、請求項12に記載の使用。

## 【請求項 14】

前記被検体が、非アルコール性脂肪性肝炎（N A S H）を有する、請求項12に記載の

使用。

【請求項 1 5】

前記被検体が、2型糖尿病を有する、請求項14に記載の使用。

【請求項 1 6】

前記化合物が、医薬組成物中に含まれる、請求項9に記載の使用。

【請求項 1 7】

前記医薬組成物が、薬学的に許容されるキャリアを含む、請求項16に記載の使用。

【請求項 1 8】

前記医薬組成物が、水性組成物である、請求項17に記載の使用。

【請求項 1 9】

前記化合物が、医薬組成物中に含まれる、請求項15に記載の使用。

【請求項 2 0】

前記医薬組成物が、薬学的に許容されるキャリアを含む、請求項19に記載の使用。

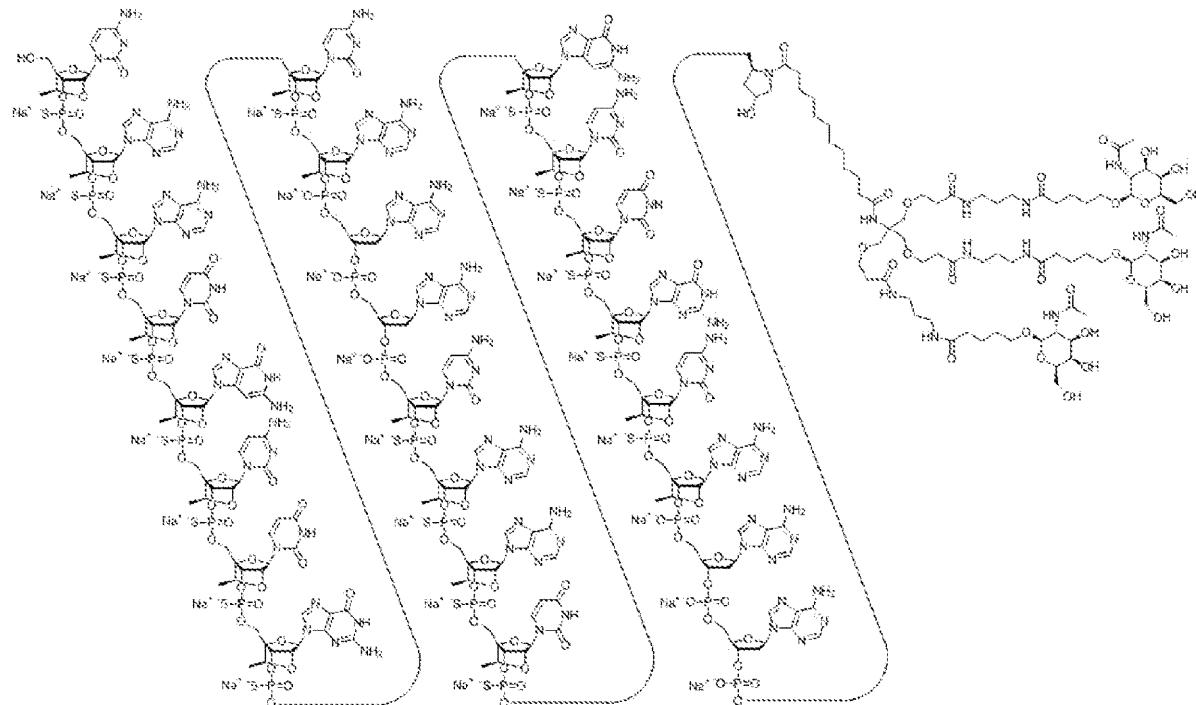
【請求項 2 1】

前記医薬組成物が、水性組成物である、請求項20に記載の使用。

【請求項 2 2】

構造：

【化4】



を有する化合物の、

被検体の少なくとも1つの代謝障害を処置する又は被検体の少なくとも1つの代謝障害の発症を予防し、若しくは遅延させるための医薬の製造における、使用。

【請求項 2 3】

前記少なくとも1つの代謝障害が、前糖尿病、糖尿病、メタボリックシンドローム、肥満、糖尿病性異脂肪血症、高脂質血症、高血圧症、高トリグリセリド血症、高脂肪酸血症、高コレステロール血症、及び高インスリン血症のうちから選択される、請求項22に記載の使用。

【請求項 2 4】

前記糖尿病が、2型糖尿病である、請求項23に記載の使用。

【請求項 2 5】

前記被検体が、脂肪肝疾患を有する、請求項22に記載の使用。

【請求項 2 6】

前記脂肪肝疾患が、非アルコール性脂肪肝疾患（N A F L D）、アルコール性脂肪肝疾患、アルコール性脂肪性肝炎、及び非アルコール性脂肪性肝炎（N A S H）から選択される、請求項25に記載の使用。

【請求項27】

前記被検体が、非アルコール性脂肪性肝炎（N A S H）を有する、請求項25に記載の使用。

【請求項28】

前記被検体が、2型糖尿病を有する、請求項27に記載の使用。

【請求項29】

前記化合物が、医薬組成物中に含まれる、請求項24に記載の使用。

【請求項30】

前記医薬組成物が、薬学的に許容されるキャリアを含む、請求項29に記載の使用。

【請求項31】

前記医薬組成物が、水性組成物である、請求項30に記載の使用。

【請求項32】

前記化合物が、医薬組成物中に含まれる、請求項28に記載の使用。

【請求項33】

前記医薬組成物が、薬学的に許容されるキャリアを含む、請求項32に記載の使用。

【請求項34】

前記医薬組成物が、水性組成物である、請求項33に記載の使用。